

パソコン操作応援テクニック part 1

～第1回は PCトラブル解決の方法です～

朝日新聞より抜粋

てくんの生活入門

頼りになるシステム復元

パソコンのトラブルは、数年前と比べればだいぶ減りました。とはいえ今でも、うまく動かなくなることはあります。不調の原因がよくわからないことも多いでしょう。そんなときに利用したいのが、正しく動いていたときの状態にパソコンを戻す「システムの復元」です。パソコンのトラブル解決にとっても役立つ機能で、これを覚えておくだけで、多くのトラブルが解決できます。

(ライター・猪狩友則)

大半のPCトラブルが解決

ある日突然、いつもしている操作ができなくなったり、あるいは日本語の入力がうまくいかない、あるいは昨日まで使えたアプリケーションソフトがうまく動かず、原因もわからないといったケースです。

そんなときは「システムの復元」を試してみましょう。ウィンドウズXP、ビスタ、Meに搭載されています。これらのウィンドウズは、新しいソフトをインストールしたり、外部機器を接続してドライバーを追加したりといった、パソコンのシステムに変更が加えられたとき、それ

以前のシステムの状態を記録してあります(この記録を「復元ポイント」と呼びます)。「システムの復元」は、復元ポイントを使って、パソコンが正しく動いていたときの状態に戻してやる機能です。「スタート」メニューから「すべてのプログラム」を開き、「アクセサリ」の「システムツール」にある「システムの復元」で実行できます。復元ポイントには、ウィンドウズの設定情報などが書かれたレジストリ、インストールされたソフト、機器の動作に必要なドライバーの状態が保存されています。どれもパソコンの動作に重要な役割

復元ポイントを自動作成

システムの復元を実行したら、戻したい復元ポイントを選びます。あとは画面の指示に従っていき、再起動を待つだけ。この間、途中でパソコンの電源を切ったり、ほかの作業をしたリするのは厳禁です。一つの復元ポイントに戻し

るバックアップと違う点です。逆に、復元ポイントより後にインストールしたソフトが使えなくなったり、アンインストールしたソフトが復活したりします。復元ポイントが作られるのはセキュリティーで、ウイルスもソフトの一種なので、復活してしまうことがあります。戻そうとする復元ポイントの時点でウイルスに感染していたら、再び感染してしまうので気を付けましょう。ウィンドウズ・アップデートもその時点に戻るの

で、再度実行する必要があります。でも解決しなかったら、もっと古い復元ポイントを試してみよう。復元ポイントの画面には、どんな変更がされたのか簡単なメモが表示されているので、参考にするとよいでしょう。中には「システムチェックポイント」というものがあります。特に大きな変更がなくても自動的に作成されるもので、パソコンの電源が入ればほぼなしなら、毎日1回作られます。復元ポイントが作られれば、それだけハードディスクを消費しますが、一定量を超える

と古いものから削除されます。XPやビスタは、ウィンドウズがインストールされているハードディスクの12%を上限に復元ポイントが作成されるのが標準です。これを少なくしたり、ウィンドウズがインストールされている以外のドライブに変更したりすることもできます。システムの復元は無効にすることもできますが、一度無効にすると、それまでの復元ポイントがすべて削除されるので注意しましょう。パソコンのトラブルの大半は、システムの復元で解消できます。パソコンがうまく動かない、いつもと違った動作をして困るなどといったときは、まず復元ポイントを試してみよう。

少し前にはちゃんと動いていたのに、
最近パソコンの調子が悪い…そんなときは

システムの復元 を利用しよう

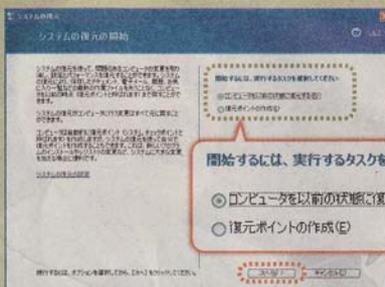


● メールや文書ファイルなどは現在のまま、ウィンドウズやソフトの設定を快適に動いていたときの状態に戻す



「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」にある「システムの復元」で実行できる

ウィンドウズ

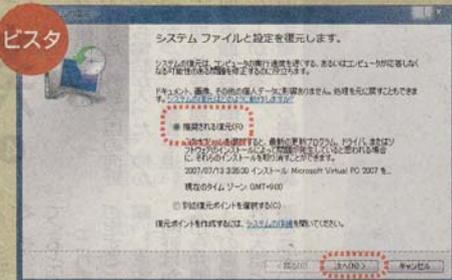


開始するには、実行するタスクを選択してください

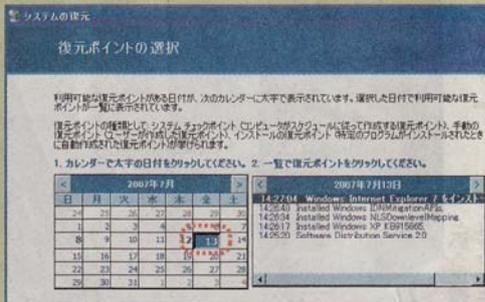
- コンピュータを以前の状態に復元する(R)
- 復元ポイントの作成(E)

「コンピュータを以前の状態に復元する」にチェックを入れ「次へ」をクリックする

ウィンドウズ



ビスタでもほぼ同様の操作だが、「推奨される復元」が自動で選ばれる。別の状態を選びたいときは、「別の復元ポイントを選択する」にチェックし「次へ」を選ぶ



続いて表示される画面で、いつの状態に戻すかカレンダーから指定する